

## 事務事業計画書兼評価表(A表)

<b>1 事務事業に関する基本情報</b>				平成	26	年度
事業番号	304	事業名	野生鳥獣被害防止事業費			
担当課	産業観光課	担当係	林業水産係			
総合計画に最も関連ある施策	施策	5	地域の個性を活かした魅力と活力のあるまちづくり	連絡先	0858-76-0208	
	施策体系	1	農林水産業の振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	
	主な事業	有害鳥獣の被害防止対策を推進、生産農家の保護			<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	5	農林水産業費	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 八頭町	
	項	2	林業費		<input type="checkbox"/> その他	
	目	1	林業総務費	計画期間	開始	—
	事業	304	野生鳥獣被害防止事業費		終了	—

### 2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 農林水産行に従事する方					
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 農林水産業に従事する方の生産意欲を高める					
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載。 農作物をはじめ、林産物、水産物を有害鳥獣の被害から守るため、有害鳥獣侵入防止柵の設置や有害鳥獣の捕獲を推進する。					
事業の手段	どうする方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 町民からの侵入防止柵の設置要望をとりまとめ、国、県の補助金を活用するための申請事務を行う。前述の補助金交付決定があり次第、事業を実施する。県事業については、有害鳥獣侵入防止柵の購入から設置まですべて受益者が行い、町は補助金関係事務を行う。国事業については、侵入防止柵、有害鳥獣捕獲用箱わな購入に係る入札執行、物品検査を行った後、受益者に物品を引き渡し設置業務を委任する。					
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 農林水産業に従事する方の生産意欲の向上を目指す。特に深刻なシカによる農作物の被害を軽減させるために、年間捕獲数600頭を目標とする。					
根拠法令等	4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	八頭町農林水産業間接補助事業補助金交付要綱 八頭町有害鳥獣侵入防止柵集団設置事業費補助金交付要綱 八頭町ニホンジカ捕獲奨励金交付要綱

### 3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし						
	A	頭	シカ捕獲頭数						
	B	m	有害鳥獣侵入防止柵延長						
	C								
	D								
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし						
	A	頭	シカ捕獲頭数						
	B	m	有害鳥獣侵入防止柵設置延長						
	C								
	D								

### 4 コスト

区分		単位	23年度	24年度	25年度		26年度		27年度
			実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	頭	494	690	600	1,070	600	1,707	600
	B	m	87,851	41,452	17,000	28,010	17,000	22,286	17,000
	C								
	D								
成果指標	A	頭	494	690	600	1,070	600	1,707	600
	B	m	87,851	41,452	17,000	28,010	17,000	22,286	17,000
	C								
	D								
トータルコスト		千円	60,955	47,063	33,108	61,808	44,361	49,959	44,361
担当職員数		人	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.5	2.0
職員人件費		千円	32,800	16,400	16,000	16,000	16,000	4,000	16,000
事業費		千円	28,155	30,663	17,108	45,808	28,361	45,959	28,361
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円	0	0				15,422	
	県支出金(交付金・補助金)	千円	8,827	9,648	7,111	21,281	13,687	20,442	13,687
	地方債(借入金)	千円							
	事業収入(使用料・参加費等)	千円							
一般財源(単町費)		千円	19,328	21,015	9,997	24,527	14,674	10,095	14,674

## 事務事業計画書兼評価表(B表)

### 5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 26 年度

実施活動内容・成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)
	有害鳥獣に中でも、特にシカによる被害を軽減するため、捕獲を推進した。また、農作物や農地を守るために、侵入防止柵の設置に係る経費の一部助成を支援した。
	成果(具体的に)
シカの個体数の減少及び、農業者等の農作物生産意欲の向上等が図られた。	

### 6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
<b>必要性</b> (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	町民より、農作物の被害軽減やや電機柵等の侵入防止柵の設置要望が多数あるため。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
<b>妥当性</b> (町が行わなければならないか)	20	20	①町が行わないといけない	国や県の補助事業を活用するため、事業実施者が町でなければならない。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
<b>効率性</b> (コスト削減の余地は無いか)	7	20	①効率的である	年々、シカの捕獲数は増加し、これに係り電機柵等の侵入防止柵の申請者等の数も増加してきている。これに伴い、事務量も増加してきているため、コスト削減は困難な状況である。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
<b>緊急性</b> (他事業に優先し実施する必要があるか)	20	20	①緊急性が高い	シカやイノシシ等の有害鳥獣は、年々増加傾向であり、被害等が減少しているとは判断しがたい。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
<b>成果</b> (目的の達成状況)	20	20	①成果が上がっている	H26シカ捕獲数=H25シカ捕獲数×1.4
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
1	1、拡充する	80点以上	87	農作物の被害防止と併せて殺処分を進めていかなければ、減少傾向とはならない。継続して支援策を講じる必要がある。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	評価点による判定	
	4、見直しの上縮小する	40～49点	1	
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
1	1、拡充する	中山間地域にとっては、農作物をはじめ林産物等の有害鳥獣の被害は深刻となっています。関係者から侵入防止柵の設置要望により、国、県の補助金を活用し事業を実施している。また、深刻なシカによる被害を軽減させる、捕獲を行い、平成26年度は1,707頭と前年比1.6倍としているが、駆除が追い付かない状態である。今後も県等、関係機関と連携しながら一斉捕獲や狩猟免許取得等の助成による地域全体での駆除体制等の方策を検討されたい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

### 7 課題及び今後の方向性

課題	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所
	農作物の被害等の増大により、農作物等を作らなくなり耕作放棄地となることが問題。
今後の方向性	上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか
	鳥獣対策に、集落で取り組んでいただく仕組みを作るなど、集落に出向き説明会等を行うなど集落全体で協力していただくよう働きかけを行う。